学校番号	416

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　標準古典探究」　（第一学習社）						
副教材等	記入して覚える古典文法　クリアノート　（尚文出版） シンプルスタイルシリーズ　古文単語 301（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
歴史的仮名遣いや語彙、文法事項など、一年次に「言語文化」で習った基礎的な古典の知識を使いながら、様々な文章を「読む能力」を身に付けてください。
授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典を読むために必要な文化や背景、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し知識を身に付けるとともに、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	古典の作品を読むにあたって構成や展開、あるいは必要に応じて書き手の考えや目的を捉えて評価するとともに、それらの活動を通して我が国の言語文化について自分の考えを深めている。	古典の作品を読むことを通して、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深め評価しようとするとともに、古典に親しむことで我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	説話を読んでどういう行為について戒めようとしたのかを読み解く。 ［教材］ 『沙石集』児の知恵	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［　読　］：説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の考えを広げたり、深めたりしている。 c：積極的に説話を読み味わい、他の学習者と互いに話の面白さを伝え合おうとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	著名な人物にまつわる説話を読み、機転のきいた返歌を味わい、その評価について考える。 ［教材］ 『十訓抄』文字一つの返し	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文語のきまりを理解する。 b［　読　］：内容や展開を的確に捉える。 c：既習の文法事項を用いて、和歌の意味の違いをとらえ、その面白さを味わおうとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	既習の文法事項を用いて、和歌の意味の違いをとらえ、その面白さを味わう。 ［教材］ 『古今著聞集』小式部内侍が大江山の歌の事 言語活動 活動の手引き　小式部内侍と和泉式部	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［　読　］：　：内容や展開を的確に捉える。 c：小式部内侍の機転について理解し、他の文献に見られる小式部内侍の記述から、その人物について考えようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート

	前回の単元で学習した和歌との関連を意識する。 和歌の表現の特色を理解し、成熟期の和歌を鑑賞する。 ［教材］ 新古今和歌集	a：和歌の修辞技法について理解する。 b［　読　］：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 c：和歌の修辞技法による効果について調べ、作品を客観的に評価しようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 ノート
二学期	随筆を読んで、当時のものの見方、考え方を理解する。 ［教材］ 『枕草子』 雪のいと高う降りたる すさまじきもの 活動の手引き　清少納言と漢文	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 b［　読　］：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の考えを広げたり、深めたりしている。 c：取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	故事成語の由来について学び、漢文の世界への親しみを深める。 ［教材］ 嬰逆鱗(韓非子)	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 漢文のきまりを理解する。 b［　読　］：内容や展開を的確に捉える。 c：故事成語の由来となった漢文を読み、日本語に与えた影響について理解しようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 ノート
	漢文を学びながら、平安の貴族社会における教養とのつながりについて知る。 ［教材］ 中国の詩	a：漢詩のきまりや形式を理解する。 b［　読　］：作品に表れている自然や人事にむけての人々の思いを理解する。 c：漢詩の作品が日本の文学作品に与えた影響について具体的に理解しようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	長編物語を読んで、人物造形や心理描写の面白さを読み取る。	a：・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 ノート

	［教材］ 『源氏物語』 光る君誕生 若紫	・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 b[　読　]:歌物語であり作り物語であるという特徴を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 c:物語において和歌の果たす意味を捉えようとしている。 人物造形や心理描写の面白さについて、他の学習者と共有しようとしている。	小テスト	ワークシート	
三学期	自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ［教材］ 『更級日記』 門出 源氏の五十余巻 活動の手引き　菅原孝標の女と物語	a:・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 b[　読　]:日記文学という作品の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 他作品とのつながりを理解する。 c:作者の幼少時から執筆時への感じ方・考え方の変化について読み深めようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　0　）時間

・読むこと　…　（　70　）時間